



「女性の社会参画加速化宣言」を募集します

県が進めている、企業・学校・団体などのあらゆる事業者が、女性が働きやすい環境の整備や女性の登用にに向けた目標などを宣言する「女性の社会参画加速化宣言」を募集します。

なぜ女性の社会参画を進めるのか

女性の社会参画が加速化することで、企業や地域経済では、次のような効果が期待されます。



- ♥ 誰もが働きやすい職場環境が整うと、離職率が低下。働く意欲も向上し、企業経営が安定する。
- ♥ 女性の視点を活用した新商品・新サービスが創出されることで、新たな収益をもたらす。
- ♥ 国は、企業で働く女性の活躍推進状況を「見える化」しており、就職活動をする学生にとっては企業選びの判断材料となり、企業にとっても優秀な人材の確保につながる。

パートナーシップ通信



人権啓発課男女共生係
☎32-1708
FAX32-0110

宣言をすると

- ▶ 県のホームページなどに、宣言企業などの名称と自主宣言目標の一覧を掲載。
- ▶ 登録企業の情報を、県内大学の就職窓口など各方面に発信。
- ▶ 県などが実施する「女性の活躍」に関する各種セミナー、講演会などの情報を提供。
- ▶ 国や県が実施する「女性の活躍」に向けた支援制度の紹介など、個別相談に対応。
- ▶ くまモンのシンボルマークを広報に利用可能。

申し込み方法など詳しくは、県のホームページをご覧ください。



▶ 守田市長へ提出



▶ 長谷議長へ提出



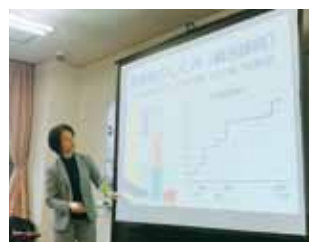
男女共同参画に関する要望書を提出

2月20日、市男女共同参画社会推進委員会から市と市議会に、男女共同参画社会の推進を求める要望書が提出されました。

（株）大鷲屋が男女共同参画推進事業者に表彰されました



2月7日、県庁で県男女共同参画推進事業者表彰式が行われ、（株）大鷲屋（松橋町）が表彰されました。重い荷物を運びやすくするための機械を導入するなど女性の職域拡大の実施や、子育てをしながら働き続けることができる環境整備に取り組んでいることが評価されました。



参加者からは、「早速、家計簿を見直したい」「お金を貯めることが、自分の夢をかなえることを目的に、楽しくお金と付き合っていきたい」などの声が上がりました。

ライフ・マネー（お金と生き方）講座を開催

横尾七生子^な会長が守田憲史市長と長谷誠一議長へ「ワーク・ライフ・バランスの周知による長時間労働の見直しや環境整備」「性的マイノリティの方に配慮した施策の推進」など、それぞれ5項目の要望書を手渡しました。

みんなで学ぼう
じんけん

生涯学習課
人権教育係
☎32-1934

子どもたちの
手話教室に参加して

かしこく
みんなの

年金学

熊本東年金事務所の
出張年金相談

熊本東年金事務所 ☎096-367-2503
市民課 国保年金係 ☎32-1417

年金について聞きたいこと、分からないことはありませんか。毎月2回、熊本東年金事務所が宇城市で無料相談会を開催しています。



日時 毎月第1・3火曜 10時～15時

会場 市役所新館 第1会議室

持参物 年金手帳（基礎年金番号通知書）、年金証書、振込通知書、本人確認書類（運転免許証など）など。代理人の場合は、委任状と代理人の本人確認書類など。

詳しくは、予約時にご確認ください。

※ 日程・会場は変更になる場合があります。

事前に予約が必要です

熊本東年金事務所 ☎096-367-2503

受付時間 8時30分～17時15分

土日祝日、年末年始を除く

消費者
トラブル
注意報

簡単に高額収入を得られません
「情報商材」のトラブル

商工振興課 ☎32-1604



副業や投資などで高額収入を得るためのノウハウなどと称して、インターネットなどで販売されている情報のことを「情報商材」と言います。

簡単に収入が得られると信じて情報商材を契約したものの、広告や説明と違って収入が得られないという相談が多数寄せられています。情報商材をきっかけに、ソフトウェアやコンサルティングなどを契約させられるケースもあります。

契約前に情報の内容を確認できないので、安易に業者を信用しないようにしましょう。

少しでも怪しいなと思ったときは
消費生活センター ☎33-8277

先日、小学生対象の手話教室に参加しました。講師は、熊本市東区役所で手話通訳の総合案内をしている不知火町在住の田中みさ代さんです。田中さんは、子どもの名前を聞きながら手話が表す意味を分かりやすく教えます。「初めまして。私の名前は〇〇と言います」。子どもたちは覚えての自己紹介を私にもやってみせます。「おお、上手」とほめるとうれしそう。



私が以前、学校で働いていた経験から得たことなどをお伝えしていきます。

同校は幼稚園から高等部までがある県下でただ一つの聾学校です。私に気付いた3歳児クラスの男の子が寄ってきて、手話で教頭先生に私のことを尋ねているようです。小さな子どもの手話をする姿にびっくり。それにかわい。当たり前なんですけどね。5歳児クラスは全員で7人。そのうち3人は、地元の小学校に入学すること。教頭先生が地域共生を支えるためにコーディネーターとして行くそうです。高等部では理容科が実習をしていました。田中さんに教わった手話で自己紹介をする、1年生の男の子が「ほん、だ」と発音してくれました。伝わった、うれしい。

校内掲示に「最も大切なのは、日常で培う地域の人の関わりだ」と語る在校生の話がありました。その思いを共有する手話文化がもたらされるというですね。これからも機会があるごとに手話を学んでいこうと思います。快く案内してくださいました教頭先生、ありがとうございました（左手の甲を右手でチョップ）。